

著作物を複製する (交友関係と法令遵守の葛藤)

日常の友だち関係の中でありがちな、著作物の違法コピーについて取りあげ、友だちに頼まれて違法コピーしたことに、どのような問題があるかを考えさせる事例。「段階的指導モデル」における「B」と「C」に該当する事例である。

5分の指導でモチベーションが高まる

困ったな。親友のB君に映画のDVDのコピーを頼まれて気軽にコピーしたあげたんだけど……。その噂が学校中に広がって、大勢からコピーを頼まれるようになってしまって……。これは大変なことになったと、今は思っているんだけど、でも、断り切れないし、困ったなあ。



なるほど。
最初に、親友の頼みを気軽に聞いてコピーしてあげたのが間違いの始まりだね。
友だちとの関係も大切だけれどね。
さて、どこが問題なのか。
なぜいけないのか。
どうすればよかったのかを、考えてみよう。

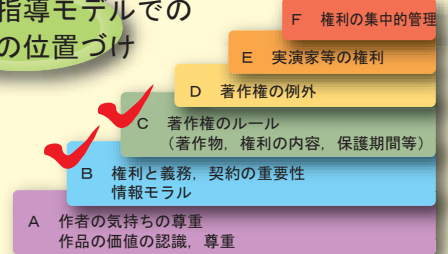
「著作権教育」の学習のねらいと指導のポイント

- 交友関係と法令遵守の葛藤を通して、ルールを守ることの大切さと違法コピーが社会に与える影響について考えさせる。
- 著作権を、道徳の授業を意識して、価値の葛藤場面を設定する。
- よりよい交友関係のあり方、法令遵守の必要性について考えさせる。
- 著作物の違法コピーの問題性について考えさせる。

他の教科への応用例

- デジタルデータの不正コピーに関しては、技術・家庭科の授業の中で関連して扱うことができる。

段階的指導モデルでの 本事例の位置づけ



こうして押さえよう！ まとめの一言

- choice ① 「交友関係も大切なことだけど、社会人としてのルールをまもることも大切です。」
- choice ② 「著作物を違法コピーすることによって、作者に経済的な損失を与えることになってしまい、結果として優れた著作物が創られなくなってしまうことになります。」
- choice ③ 「著作物の違法コピーはしないようにしましょう。」

こんな風に語りかけたい！ 具体的な展開例

- A君はある映画のDVDを買ってもらった。それを知った親友のB君からコピーを頼まれた。
A君が気軽にコピーしてあげたところ、その噂がクラスを超えて学年中にまで広まり、たくさんの人がA君のところへコピーを頼むようになってきた。
さすがに、これはいけないと思ったA君だったが、断り切れず悩んでしまった。
- さてこの出来事について、
「どこが問題なのだろう。」
「なぜいけないのだろう。」
A君はどうすればよかったのか考えてみよう。
- 著作物を違法コピーの問題性（創作者の経済的損失）」についても考えさせる。

発問事例



- ・ A君のどこが問題だったと思いますか？
- ・ A君の行動はなぜいけないのですか？
- ・ A君はどうすればよかったと思いますか？
- ・ この後、A君はどうすればよいと思いますか？